**第３回登別市市民自治推進委員会　産業躍動部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２８年６月２９日（木）１８：３０～

◆ 開催場所：アーニス２階　会議室

◆ 出席部会員：部会長　　髙橋　弘康

　　　　　　　 副部会長　川田　弘教

　　　　　　　 部会員　　木村　義恭

　　　　　　　　 　　　　近井　一夫

　　　　　　　　　 　　　安達　陽子

　　　　　　　　　　　　 井上　昭人（協働推進庁内委員会副部会長）

【観光経済部商工労政グループ総括主幹】

◆ 欠席部会員：部会員　　小川　賢

　　　　　白田　明義（平成２８年６月９日付けで辞任）

　　　　　　　　　　　 　志水　孝暢（協働推進庁内委員会部会長）

【観光経済部商工労政グループ総括主幹】

◆ 事　務　局：　　　　　松田　毅　【市民生活部次長】

笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　 　早坂　晃正【市民生活部市民協働グループ担当員】

◆ 議　題：「健康」に関する取り組みについて

**≪部会長≫**

第３回　産業躍動部会を開催いたします。

　先ずは、事務局の方から連絡があるのでお願いします。

**≪事務局≫**

観光協会から推薦されています白田委員ですが、一身上の都合により辞任となっております。市民検討委員会から継続して今回委員になっていただいた経緯もあったため、事務局としても継続をお願いしたところでしたが、同じ観光協会内の若手にたくしたいというお話がありまして今回辞任となっております。

　現在、観光協会には推薦の依頼をしていますので、早ければ次回の部会でご紹介できると思いますので、よろしくお願いいたします。

　前回の５月１２日に開催しました部会の振り返りとしまして、全体会議で決定した「健康」をテーマに議論いたしました。

観光経済部関係の事業であれば、食べ物や温泉に入るといったことが健康にはよいのではないかという話がありました。

農業や水産で健康に繋がる食べ物はないかを考えることも一つの手ではないでしょうかとか、登別牛乳や水産物とか加工品等の話もありました。

地場産のものを使っての料理教室など、そういったことも何か繋がらないかという話もありました。

それと、地場産のものを市民の食生活に取り入れることや、販売することですと民間でもできるのではないかという話もありました。

また、温泉や食事であれば、海外の人に人間ドックを受けてもらい滞在してもらうなど、プラチナタウンや全市観光を健康に繋げることは出来ないかという話がありました。

　ただ、事業の話をするとお金の縛りが出てくるので、その中から整理して行く必要があるのではないか。話が出ても誰がやるのか決まらないと進まないという話もありました。

　今回は、前回にお配りした、市のぶら下がり事業一覧を配付しておりましたが、説明をしてほしいという要望はありませんでしたので、前回の話の流れを踏まえて産業躍動部会で「健康」をテーマにできることの方向性等を絞っていただければと思います。

　今後の流れとしまして、各部会の議論している内容等の情報共有や今後の方向性について7月１３日に部会長・副部会長会議を開催いたしますので、次回の部会は、部会長・副部会長会議が終わった後の7月の後半となります。

　市の来年度予算に反映させるには、9月・１０月くらいには事業の内容等を固める必要がありますので、その部分を先に検討する必要があると考えております。その後で市民や各団体でできる部分につきまして検討できれば良いのではと思っております。

**≪部会長≫**

　前回の話を踏まえて、こういう方向性が良いなど案があれば言っていただきたいと思います。

　前回は健康に関して、観光方面や食の方面などがありましたが、どこを的にするかという部分で何か良い案はありませんか。

　どうしても健康となると食になりやすいのかなとは思いますがどうでしょうか。

**≪事務局≫**

　　産業に結びつくようなことですよね。

　　端的に言えば観光と結びつけるのが一番簡単なのかなと思います。

　　ヘルスツーリズムというものがあって、以前からできないかと話はあるのですがなかなか進んでいないのが実状で、そのヘルスツーリズムの中身を皆さんで考えて観光振興や観光協会に打診するということが簡単なのかもしれないですね。

**≪部会員≫**

　私は商工会議所の立場として来ていますが、商工会議所としては、今後取り組んで行きたいのは地方版のＤＭＯをやりたいというのはあります。

　それは、商工会議所では組織を創るという大きな目標があって、その組織を創って身になる部分となると、今すでにあるものや、地場で埋もれているものなどで、どうしても登別にくるお金が温泉で消費されてしまっていて、雇用などは生まれているが市内にはなかなか循環されていません。そういった部分をＤＭＯがコンシェルジェのような役割をして、波及させたり繋げて行ったりとなると思いますが、それイコール「健康」となるとリンクするのかと言われると、一部は良いけど他はリンクしないよねとなってしまうので、それを産業躍動部会で取り上げてくださいというのもどうなのかなと思います。

**≪事務局≫**

　健康に位置づけないという方向でもいいと思いますよ。

　最終的には健康とは結びつかない部分があるので、産業躍動部会としてはこういう方向で進みたいと部会長会議の時に出していただいて進めて行くという手法もあるかなと思います。

**≪事務局≫**

　部会長・副部会長会議の中で、何か提案があるかもしれません。

　温泉を使った健康について、効能をＰＲすることはできないかという話が出ている部会もありました。

　食の部分であれば地場産業であれば、産業躍動としてできるのではないかと他の部会で話はありましたので、部会長・副部会長会議の中で話が出るかもしれません。

**≪部会長≫**

　私も色々と考えてみましたが、どうしてもこじつけたみたいになってしまうんですよね。

**≪庁内委員≫**

　温泉は入るだけで健康に繋がると思います。

　リフレッシュという意味では弱いかもしれませんが、長く滞在してもらって湯治でなくても何回も温泉に入ってもらうなど。宿泊を長期にしてもらうことで経済にも波及しますし、長く滞在することで自然体験や乗馬といった体験メニューを楽しんでもらいながら温泉に長く滞在してもらうのも一つかなと思います。

**≪事務局≫**

　それを考えていくと全市観光に結びついていくというのはありますよね。

**≪庁内委員≫**

　あまり小さく健康イコールにしてしまうと結びつけるのが難しくなってしまうと思います。

**≪部会長≫**

　どこの人に聞いても、登別といえば温泉とクマ牧場が有名ですからね。

　温泉の知名度が高いのであれば、それを利用して、中小企業も参加できるなにかがないかなと思います。

**≪庁内委員≫**

　今、温泉だけでは難しくなっていますが、登別から温泉は外せないと思います。そのため、温泉に何か付加させないといけないので、それが食や体験メニューなのかなと思います。

**≪部会員≫**

　温泉とか全部を取り入れるのは難しいと思うので、地場産なら地場産とかに分けることはできませんか。

**≪事務局≫**

　複数になっても大丈夫です。

**≪部会員≫**

　やきそばのサミットとかもありましたよね。あれをもっと大きくしても良いのではないでしょうか。全国的にすすめれば地場産のものも使いますしＰＲになりますよね。

**≪副部会長≫**

　今、市民協働や総活躍などがあって、市民それぞれが関わりのあるまちづくりが大事なのかなと思っています。

全市観光となれば、仕事に関わっている人だけでなく、文化や生活との組み合わせを考えることで市民が総活躍していければと思います。

**≪部会員≫**

　やはり温泉だけでは厳しいと思います。

　健康をテーマに温泉は外せないところで、どんな魅力があるのかということと、２、３日滞在してもらい温泉に入って健康になってもらうためのプログラム作りが必要になってくると思います。そのために、市内にある素材やルートや二次交通等について取り組んで行けば、雇用や発掘が生まれて、結果的に市内の活性化に繋がり産業躍動部会としての使命が達成できるのかなという気がします。

**≪部会委員≫**

　現在日本に来る観光客で今アジアが注目されていますが、実はヨーロッパ特にドイツからの観光客が多いそうです。時間をかけて日本に来るため、ほぼ長期滞在をするのでお金を多く落としています。

　そういった人たちが長く滞在できるプログラムを作るということをしていってもいいのではないかなと思います。

**≪部会長≫**

　キーワードとしては温泉となって、その中で長期滞在してもらうにはとなった時に空き店舗対策といったものに繋げていくということでよろしいでしょうか。

**≪事務局≫**

　海外の人だけでなく市内の人も行けるようになるといいですよね。

**≪部会員≫**

　健康だから登別温泉に行けるという考え方もありますよね。足腰が悪ければいけないです。

**≪部会員≫**

　以前に障がい者の集まりでモニタリングをしたことがあるのですが、健康な人が使う前提で造られているので、障がい者にとって使いにくいんですよ。

**≪事務局≫**

　改善点を出しても改修するお金をその施設で出すかどうかという問題があります。

**≪部会員≫**

　海外の観光客もそうだけど、日本人の観光客が利用しやすい環境も整っているといいですね。

　いつまで海外の観光客が来るのか分かりません。

**≪事務局≫**

　市民の人であれば宿泊より日帰りですね。

**≪事務局≫**

　日帰り施設を造ってほしいという声はあります。

**≪部会長≫**

　温泉には効能が色々とありますが、１回や２回入ったからといってよくなりません。続けないと意味がないと思うので、例えば市民が骨折したなどで治療中であれば半額になるなどがあっても良いかもしれませんね。

**≪部会員≫**

　あっても行く手段がない人が多いかもしれませんね。

**≪事務局≫**

　そうなってしまいますね。

**≪部会長≫**

　医療方面には繋がりますけど、空き店舗対策や産業躍動に繋がるかと言われると難しい所が課題ですね。

**≪事務局≫**

　滞在するプログラムとかに繋げていった方が良いかもしれません。

**≪部会員≫**

　ストーリ性を持たせないとダメなのではないかと思います。

**≪事務局≫**

　今、商工会議所で観光への取組などはしていますか。

**≪部会員≫**

　日本商工会議所の補助金をもらい、登別・室蘭・伊達の商工会議所で、それぞれの温泉や観光スポットを巡るルートづくりをしています。

　ルートはもうできていて、平成２８年度予算では実証実験をするなど、ホームページで多言語を表示し、ブロガーを呼んで発信してもらうなどの取組を考えています。

**≪事務局≫**

　ルートは登別だけのルートはありますか。

**≪部会員≫**

登別だけのルートはないです。

**≪事務局≫**

　登別だけのルートづくりをするのもいいかもしれませんね。

**≪部会員≫**

　ルートも一つではなく目的ごとにいくつかあると良いかもしれませんね。

**≪事務局≫**

　どこのまちに行っても食があると思うのですが、日中であれば必ず食事すると思います。

**≪部会員≫**

　登別に来たら必ずこれを食べるというものがないですね。

**≪部会員≫**

　亀田公園のジンギスカンであれば人もたくさん入ります。

**≪事務局≫**

　団体であれば、いずみなどもあります。

テーマパークもそれぞれジンギスカンがあります。

**≪部会員≫**

　個人客も来ますから、古民家を改築してカフェにするなどもできますね。

　いずれは地元に戻ろうとしていたと考えている人など、退職した人が温泉にも入りたいけど働きたいから何かを始めるなどもあります。

　そうやって創っていければいいですね。

**≪部会員≫**

　ルートづくりをすることで人の流れをつくって、そこで商売をしてもらうことができるといいですね。

　そうすれば、定住してくれる人も増えるかもしれません。

**≪部会長≫**

　人を動かすには食ですかね。

**≪事務局≫**

　おいしいものがあれば遠くても行きますよね。

**≪部会員≫**

　市内でもおいしい店とかも知られていない所はたくさんあるかもしれません。

**≪庁内委員≫**

登別産を食べられるところが少ないですね。

　最近は、シカ肉や豚肉など出てきているので、飲食店で使ってもらえるように営業しようと試みています。

**≪事務局≫**

　値段も安くなると消費してもらいやすいですね。

**≪部会員≫**

　海産物は登別で取れるものはなんですか。

　１か月に１回とかでもいいので、朝市とかも良いのではないですか。

　そこに観光客も来てもらって、海鮮どんぶりを食べられるシステムとかあるとおもしろいですね。

**≪事務局≫**

　人が集まって地場産品を販売するとなると道の駅ですかね。

　会員が募ってお金を出し合って造るとかは考えられないですかね

**≪部会員≫**

　考えられますね。

道の駅だと縛りもあるのでそれに似た機能を持つ場所としたほうがいいかもしれませんね。

　例えば、ファンド形式にしたり、市民からお金を募ったり、出資していただく企業をどうするかになれば、会員企業とかになってくると思います。

**≪庁内委員≫**

　九州とかにもありましたね。

　観光案内やトイレなど公的な部分は市が建てて、物販の場所は住民の方々がお金を出し合って建てて販売もしている所がありましたね。

　それも、道の駅的な場所もありましたね。

**≪部会長≫**

　洞爺に水の駅がありますけどあれは各地にありますか。

**≪事務局≫**

　聞いたことはないですね。

**≪部会長≫**

今後は、滞在の関係で話をまとめまして部会長・副部会長会議で伝えていきたいと思います。

**【次回会議について】**

・部会長・副部会長会議の報告。

・長期滞在をしてもらうのにどのような取り組みをするかを協議する。

**【次回の日程】**

・平成２８年７月２５日（月）１８：３０から